

# ～ ファジアー/岡山 新スタジアム建設プロジェクト ～

## 活動の様子



発表の様子

## 取り組む課題

本活動で取り組んだ課題は、新スタジアム整備を巡る議論において、感情的・象徴的な賛否にとどまらず、調査結果のエビデンスに基づいた意思決定を可能にする点にある。特に、ファン・サポーターが求める具体的なスタジアム収容規模、立地条件、機能的・空間的特性、複合機能、経済的・非経済的利益の認知等の内容を明確に把握することが求められた。また、スタジアムにおける今シーズンの平均観戦回数やファン・サポーター歴、居住地などの属性による違いを分析し、多様な立場を踏まえた新スタジアム整備の方向性を検討することを重要な課題とした。



調査の様子

## 本学(学生)の役割

本学学生は、調査設計から2025年9月13日の現地調査、データ整理・分析、2026年1月22日の報告会資料作成に至るまで、本調査活動の中心的役割を担った。具体的には、アンケート項目の検討、調査当日の運営補助、回収データのチェック、データクリーニング、および統計分析を行い、その結果を分かりやすくパワーポイントで可視化した。また、報告会においては学生自らが調査結果を発表し、「新スタジアムの整備を推進する会」をはじめとするステークホルダーに対して説明責任を果たした。これらの活動を通じて、学生主体の実践的学修が実現された。

## 企画・活動概要

本活動は、2025年にJ1昇格を果たした「ファジアーノ岡山」を対象に、新スタジアム整備に関するファン・サポーターの意向を把握することを目的として実施した調査事業である。2025年9月13日に「JFE晴れの国スタジアム」周辺において、QRコードを用いたアンケート調査を実施し、スタジアムの機能的・空間的特性や、経済的・非経済的利益の認知についてデータを収集した。得られた結果は、分析・考察を経て2026年1月22日の報告会にて共有し、今後の新スタジアム整備やスポーツを核としたまちづくりへの示唆を提言した。

## 活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

本事業により、ファン・サポーターが新スタジアムに求める具体的な機能的・空間的特性や、経済的・非経済的価値の認識傾向を明らかにすることができた。成果は2026年1月22日の報告会にて共有され、今後の新スタジアムの整備に関する議論に有益な知見を提供した。また、メディア4社からの囲み取材を含む取材対応も行き、貴重な経験となった。学生は本活動を通じて、調査企画力、データ分析力、考察力、論理的思考力に加え、対外的な説明力や協働的に課題解決へ取り組む姿勢を身につけたとおもわれる。以上が本活動における大きな教育的成果である。



囲み取材中の様子

## 経緯・背景・目的

「ファジアーノ岡山」は2025年シーズンにクラブ史上初めてJ1へ昇格した。今シーズンでは全ホームゲームで岡山側エリアが前売り完売となるなど、クラブ創設以来初の快挙を達成した。一方で、収容人数約15,500人の現スタジアムでは需要に対応しきれない状況が続いている。こうした背景のもと、2025年6月に新スタジアム整備を目指す団体が設立され、約50万筆に及ぶ署名活動が展開された。本事業では、新スタジアムに対するファン・サポーターの具体的な意向を明らかにし、整備議論に資する基礎資料を提供することを目的とした。

## 指導教員および関係者の紹介

### <指導教員>



人間社会学部  
人間健康学科  
准教授  
青山将己 (アオヤママサキ)  
  
<専門・担当科目等>  
【スポーツプロモーション】  
スポーツビジネス論、  
健康・スポーツ関連企業分析、  
健康サービス企画運営演習ほか

### <関係者・企業等>

ファジアーノ岡山